



さくらぐみだより

公園の落ち葉が赤や黄、オレンジへと姿を変え、お散歩が一段と楽しい季節になりました。さくらぐみの子どもたちは、拾ったドングリや木の実を使って遊んだり、落ち葉の色の移り変わりに気付いたりして感性豊かに秋を楽しんで過ごしています。子どもたちにとって秋の自然は宝の山のようなものです。

秋探しをしたよ



天気のいい日には、公園や亀山本徳寺へ秋探しに出かけています。地面には色づいた葉が積もっており、「あかいね!」「きいろのはっぱみつけた!」と春夏の頃の緑色の葉とはちがうことを体感しています。葉っぱの上を歩いて音を鳴らしたり落ち葉拾いをしたり、また、「シャワーしようよ!」と、落ち葉をかき集めて宙に投げ、葉っぱのシャワーをしてチラチラ舞い落ちる葉に大喜びしました。



最近では、見つけた枝に落ち葉を刺して、「焼き鳥みたいだね!」と言う声に周りの子どもも参加し、串になる枝を集める子、お肉代わりとなる葉っぱを集める子にそれぞれ分かれ、たくさんの焼き鳥が出来上がりました。「いらっしい〜! ついりますか?」と砂山に刺して、焼き鳥屋さんごっこが始まり、夏にバーベキューを経験した子のイメージから秋の自然物を使ったごっこあそびに発展しています。



他にも室内では葉っぱのひも通しやドングリケーキなど秋の自然物を使って作品作りを楽しんでいます。

他にも室内では葉っぱのひも通しやドングリケーキなど秋の自然物を使って作品作りを楽しんでいます。

保育士体験を終えて パート① ~あひるぐみ~

コロナ禍で日常の保育を保護者の方にみていただく機会が少ない中、11月上旬、本園あひるぐみの希望者の方に保育士体験をしていただきました。自分のお子さんの園生活を見学できると同時に、絵本の読み聞かせや散歩の引率の他、直接子どもに関わらない雑務などもお手伝いしていただきました。

エプロンの米粒とりのおかげで洗濯が楽にできていました。知らない間に助けられていました。

優しくあたたかくご指導くださった先生方をはじめ子どもたちの純粋なまなざしに支えられ貴重な体験ができました。

息子の友達との関わりが見られて安心しました。また先生方が明るく良い雰囲気子どもに接しているので、みんないい顔をしていました。

今日感じたことは、決して先生が子どもにベタベタするわけではなく「支え」になっておられると思いました。その距離感が勉強になり、親にしかできない「甘え」も大事ですが「支え」も今後の子育てに意識してみようと思います。

保育者・母・友達のおかあさんという、いろいろな立場で子どもに接することができ他にはできない経験ができました。ありがとうございました。



ギターを片手に子どもたちと歌を歌ったり、手遊びや絵本を読んだり、お家から事前準備をたくさん考えてきてくださいました。保育者ではなく友達のお父さん・お母さんが披露してくれた遊びはとっても新鮮で保育者には出せない温かさを感じました。私たち保育者もお家の方のように、ぬくもりを感じられるような保育を心がけたいと思います。参加くださった方々、本当にありがとうございました。今後は今在家分園や三宅分園でも予定しています。